



表中の赤字は警報基準値超え

定点医療機関あたりの報告数	年間を通して流行する感染症								今流行している感染症							
	新型コロナ				急性呼吸器感染症 (ARI)				感染性胃腸炎				A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			
	4/6~4/12	~4/19	~4/26	~5/3	4/6~4/12	~4/19	~4/26	~5/3	4/6~4/12	~4/19	~4/26	~5/3	4/6~4/12	~4/19	~4/26	~5/3
松戸保健所管内 (松戸、流山、我孫子)	0.65	1.25	0.95	0.53	76.05	79.75	103.8	96.95	6.27	6.27	5.91	5.73	4.55	2.36	5.27	2.82
定点医療機関数	20		19		20				11				11			
前週比	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↓	↑	→	↓	↓	↑	↓	↑	↓
コメント	患者数は減少し、年代別では59歳以下のみとなっています。例年、夏と冬に流行する傾向があります。重症化しやすい方と接する機会には基本的な感染対策を実施してください。				急性の鼻・のど・耳・気管支・肺などの感染症の総称です。0歳から29歳の患者の割合が全体の約8割を占めています。				松戸保健所管内の定点当たりの患者数は、千葉県全体と比べると多くなっています。				松戸保健所管内の定点当たりの患者数は、14歳以下が9割となっています。例年春から初夏にかけて患者数が増加する傾向にあります。			
千葉県	0.75	0.78	1.08	0.94	47.57	52.54	66.71	66.06	3.45	3.07	3.63	3.31	2.41	2.70	3.39	2.73
前週比	↓	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↓	→	↓	↑	↓	↑	↑	↑	↓
東京都	0.57	0.70	0.54	0.35	43.67	51.75	58.71	57.23	4.75	5.25	5.89	5.15	1.28	1.70	1.92	1.92
前週比	↓	↑	↓	↓	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↓	↓	↑	↑	→

全国の麻しん(はしか)感染者数が436人に増加！ (第17週 4/20~4/26 速報値)

国内各地で麻しんの流行が拡大しています。東京都をはじめ、関東地方で多く発生しています。

世界的に麻しんが増えています

2025年は、世界的に麻しんの増加がみられ、麻しんの排除認定国であったアルメニア、オーストリア、アゼルバイジャン、スペイン、英国、ウズベキスタン及びカナダで排除認定が取り消されています。

また、米国では、2026年に報告された総症例数が4月9日時点で1,714例となっており、2025年の半数を超えているため、今後の動向が懸念されています。

国内の発生動向と推定感染地域

海外との往来が活発になっているに伴い、諸外国、特にインドネシアを推定感染地域とする報告が増加しています。

また、国内感染例も増加しており、このうち海外渡航歴のない症例が報告数全体の約3分の2となっています。
 (4月15日現在)

海外へ渡航した後は体調に気を付けましょう

帰国後、2週間程度は麻しん発症の可能性を考慮し、健康状態に注意してください。高熱や全身の発しん、咳、鼻水、目の充血などの症状により医療機関を受診する場合は、事前に連絡してください。その際には、次の事について伝えてください。

- ・渡航先、滞在期間
- ・現地での飲食状況や、活動内容
- ・動物との接触有無
- ・ワクチン接種歴



厚生労働省
 ホームページ
 麻しん

予防接種の記録を確認しましょう

麻しんの予防接種制度は、現在、「麻しん風しん混合(MR)ワクチン」として第1期は1歳から2歳未満に1回、第2期は小学校入学の前年度の1年間に1回の計2回となっています。

2000年(平成12年)4月1日以前に生まれた方は、当時の感染状況もあり、2回の定期接種が行われていない可能性があります。

ぜひ、この機会に、ご自分の母子健康手帳の「定期予防接種」及び「その他の予防接種」の履歴が記載されているページをご覧になり、予防接種の記録を確認してください。



麻しん・風しん混合(MR)ワクチンの接種を検討していただきたい方

「麻しんにかかった事がある」「予防接種を2回受けている」と確認できない方は、麻しん・風しん混合(MR)ワクチンの接種をご検討ください。今回の流行は10代から40代の方を中心としていることも踏まえて、特にこの年齢層の方はご検討をお願いいたします。

柏市の麻しん(はしか)患者発生について(終息)

令和8年4月10日に麻しん(はしか)と診断された、柏市在住の患者について、以降、新たな患者発生はなく、令和8年5月7日をもって終息したと松戸保健所から連絡がありました。ご協力ありがとうございました。引き続き、感染拡大の防止にご協力をお願いいたします。